

令和2年度（一財）山形コンベンションビューロー事業報告

□ 活動の概要

コンベンションの開催状況としては、新型コロナウイルス感染症拡大により、コンベンションの開催が中止や延期を余儀なくされ、感染症防止策を講じて開催した総数は3件、参加者総数は261人となりました。このような状況下において、誘致支援活動では、オンラインで開催された誘致商談会「第30回国際MICエクスポ・オンライン」に参加し、首都圏や海外の学会・協会本部などキーパーソンへ誘致活動を行いました。また、コンベンションを開催した主催者に対し、臨時的な支援策として会場費用等の助成を行いました。

コンベンションに関する調査及び広報事業においては、コロナ禍で影響が大きかった飲食・宿泊・観光業を支援するため、「山形おもてなしガイド ウマイベヤマガタ」の掲載料を無料として制作し、観光案内所などで配布しました。

山形国際交流プラザ管理運営事業では、新型コロナウイルス感染症の対策として、政府の基本的対処方針等に基づき対応し、利用件数は、展示会や研修会等で1,299件、来場者数は約12万人となり大幅な減少となりましたが、毎年開催している山形ビッグウイングフェスティバルは、感染症対策を講じた上で実施し、村山広域圏（7市7町）並びに関係団体の協力を得て、3,400人の方々から来場をいただくことができました。

また、施設の安全安心を第一に考え、利用者からの要望にはできるものから素早く対応するなど利便性の向上にも努めました。

事業別活動状況については、次のとおりです。

□ 事業別活動状況

1 コンベンションの誘致及び開催支援事業

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言下では、電話や電子メール及びダイレクトメールを活用して、首都圏の学会・協会本部に対し誘致支援活動を行った。また、仙台圏や地元の主催団体には、感染症対策に留意しながら訪問した。さらに「第30回国際MICEエキスポ・オンライン」に参加し、新規案件を誘致活動に活かすことができた。

支援活動では、コロナ禍におけるコンベンション主催者の負担軽減を目的に支援策として会場費用等支援を行った。

(1) 誘致事業

令和2年度に開催が決定した主なコンベンション

開催年度	会期	開催名称	開催場所	参加者数	うち 県外者数 (外国人)	規模
令和3年度	5/21-23	地域活性学会 東日本大震災後10年特別大会 【ハイブリッド開催】	さくらんぼ タントクル センター	300人	250人	全国
	8/1-2	第10回内視鏡下耳科手術 ハンズオンセミナー in 山形	山形医学交 流会館	80人	55人 (20人)	国際
	8/28-29	第29回母乳育児シンポジウム	山形テルサ	800人	700人	全国
	10/14-15	産学連携学会 第6回日韓比較 研究国際ワークショップ	山形テルサ /山形大学	60人	40人 (10人)	国際
	10/29-30	第3回肺癌縮小手術国際会議	山形テルサ	200人	100人 (80人)	国際
	11/15-19	化学・環境・バイオ工学に関する 国際会議	ほほえみの 宿滝の湯	100人	70人 (30人)	国際
	11/30-12/1	プラスチック成形加工学会 第29回秋季大会	山形テルサ	550人	500人 (10人)	全国
	12/2-12/3	第23回AMSシンポジウム	ホテルキャ ッスル	100人	90人 (5人)	全国
	3/27-3/30	日本森林学会学術大会 第133回大会	山形大学	1,300人	1,200人	全国
令和4年度	7/16-17	第44回(公社)日本産婦人科 医会 性教育指導セミナー全国 大会	山形テルサ	400人	200人	全国
	12/3-4	第46回日本高次脳機能障害 学会 学術総会	山形テルサ	600人	580人	全国
令和5年度	11/18-19	第26回日本腎不全看護学会 学術集会・総会	やまぎん県 民ホール/ 山形テルサ	1,500人	1,420人 (1人)	全国

① 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を予定していた国際会議や全国大会等に延期や開催を中止する情報が寄せられた。

- ・中止及び延期となったコンベンション 37件
- ・オンライン開催となったコンベンション 10件

② 国際MICEエキスポ（IME）への参加

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、初めてのオンライン開催となった「第30回国際MICEエキスポ・オンライン」に、（一社）米沢観光コンベンション協会と共同で参加した。

主 催 （一社）日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）
日本政府観光局（JNTO）

期 日 令和3年2月24日（水）～26日（金）

出展団体 81団体

MICE主催者参加数 246人（うち国外34人）

商談件数 9件（うち国外6件）

③ グローカル都市連携

国際会議の誘致に積極的に取り組んでいるビューロー4団体が国際会議データの共有化を図り、約200件のデータベースから山形開催の可能性を探り、53団体に対しMICE資料等を送付した。

④ 誘致訪問活動状況

仙台圏・県内域外の学協会本部・キーパーソン等3団体3回訪問。

村山広域圏内での誘致活動7団体延べ19回訪問。

⑤ コンベンション施設ガイドの制作配布

村山広域圏の公的施設及び賛助会員宿泊施設を掲載したガイドを制作し、主催者等へ配布した。

⑥ 「Yamagata 彩Guide MICE +」の企画・制作及び配布

村山広域圏でMICEを開催される際の情報メニューとして、アトラクションや歴史的建造物等での懇親会、観光・お土産品等を集約したガイドを制作し配付しました。

⑦ 3年（2021年～2023年）カレンダーの制作及び配布

抗菌や消臭等の効果がある紙を使用した3年カレンダーを制作し、主催者等に配布した。

(2) 開催支援事業

① 新型コロナウイルス感染症の影響

アトラクション及び貸切バス費用の助成、コンベンション開催助成金、山形空港及び山形駅等の歓迎看板掲載等の支援は行わなかった。

② 支援訪問活動状況

仙台圏・県内域外への支援訪問活動 2団体 2回訪問

地元各種団体等 38団体 延べ113回訪問

ビューローが支援した団体(主催者)数

開催年度	開催予定件数	支援総数(※)
令和2年度実績	3件	3件
令和3年度	38件	34件
令和4年度	22件	17件
令和5年度	5件	5件
計	68件	59件

※開催予定件数のうちビューローが支援している件数。

③ コンベンション会場費用等の助成

(山形県規模以上1件あたり上限額50,000円)

[6件総額:300,000円]

開催名称	規模	開催場所	参加者数	交付実績
第11回医療安全やまがたフォーラム	山形県	山形国際交流プラザ	266人	50,000円
令和2年度山形県身体障害者相談員研修会	山形県	山形国際交流プラザ	61人	50,000円
第11回山形県社会教育研究大会	山形県	やまぎん県民ホール	499人	50,000円
第39回山形県土地改良大会	山形県	山形国際交流プラザ	350人	50,000円
第27回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会	ブロック	山形国際ホテル	95人	50,000円
令和2年度保育研修事業「園内研修の進め方」	山形県	緑の迎賓館アンジェリーナ	52人	50,000円

④ 「コングレスバッグ」「ネームホルダー」の提供

主催者を支援するため、「コングレスバッグ」「ネームホルダー」を提供した。

2 コンベンションに関する調査及び広報事業

山形国際交流プラザ内の7市7町観光物産展示コーナーのリニューアルを行い、村山広域圏のPRに努めた。また、主催者と参加者に好評である「山形おもてなしガイドウマイベヤマガタ」の制作とWeb版の更新、スマートフォン用アプリ「やまがたMICEなび」などを活用し、域内の情報発信などを行った。

(1) 調査事業

① コンベンション開催情報の収集と開催意向の調査

各種団体・施設・行政等159件に対し開催意向調査を実施し、情報収集を行った。

② コンベンション地図、交通アクセス・データの調査更新

主催者向けコンベンション地図・交通アクセス等データを更新した。

③ 各種会議への参加

・令和2年度東北地区コンベンション推進協議会職員研修会（オンライン開催）
期 日 令和2年10月22日（木）

※例年、参加していたJCCBコンベンション・ビューロー部会、東北地区コンベンション推進協議会定例総会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

(2) 広報事業

① 「山形おもてなしガイド ウマイベヤマガタ」の企画・制作及び配布

コロナ禍での支援企画として、令和元年度版に掲載していた店舗を対象に掲載料を無料として制作し、観光案内所等で配布した。また、Web版ウマイベヤマガタでは、掲載店のテイクアウト情報の発信も行った。

制作部数 30,000部 掲載店 214店

② ホームページによる村山広域圏のPR動画配信及び山形国際交流プラザ内観光物産展示コーナーでの特産品展示

村山広域圏PRのため、ホームページ上での動画配信の更新及び山形国際交流プラザ内の展示コーナーをリニューアルした。

③ ホームページやSNSによる情報発信

ホームページ、ウマイベヤマガタWeb版、Facebookなどを活用した情報発信を行った。

④ ビューロー紹介パンフレットの制作及び配布

主催者用に分かり易く支援内容等を紹介するため、パンフレットを制作し配布を行った。

⑤ JR山形駅東西自由通路「アピカ」のショーケース活用

ショーケースを活用し、開催予定カレンダーの掲示や支援コンベンションのポスターを掲示するなど、開催されたコンベンションの周知を行った。

⑥ 機関紙「ルネッサンス」の発行及び配布

年2回（7月、1月）発行し、ビューロー活動の周知を図るとともに、賛助会員の紹介等を行った。

⑦ 山形大学広報誌「みどり樹」への広告掲載

年2回（秋号、春号）発行の山形大学広報誌「みどり樹」へ広告を掲載し、山形大学の全教職員等にビューロー活動の周知を行った。

⑧ マスコミ等を活用した広報

- ・新聞への広告掲載 2回
- ・山形空港での電飾看板の掲示

3 山形国際交流プラザの管理運営事業

(1) 令和2年度の利用状況など

新型コロナウイルス感染症の影響により催事等が相次いで中止されたことで、すべての項目が前年度より減少した。

① 利用件数

(単位：件)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
展示棟	66	132	149
会議棟	1,201	2,068	2,194
その他	32	57	57
合計	1,299	2,257	2,400

② 来場者数

(単位：人)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来場者数	118,266	413,325	452,034

開館以降来場者数累計 17,035,252人

③ 施設利用料

(単位：円)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用料	68,308,605	173,633,106	180,333,454

④ 新型コロナウイルス感染症の影響及び対策

新型コロナウイルス感染症については催事等の取消が相次ぎ、また令和2年6月までは新規申込の受付を停止したことなどもあり、利用件数や施設利用料等に大きく影響をもたらした。令和2年度利用分の取消等については、件数が647件、利用料の損失確定額は約90,900千円となった。

○主な感染防止対策について

- ・ 共用部、会議室設備のアルコール消毒液などによる清掃の実施
- ・ 会議室内へ飛沫感染防止用ビニールシートの設置
- ・ 事務所内の受付窓口に飛沫感染防止用のビニールシート設置
- ・ 正面玄関に来館者向け施設利用協力依頼を設置
- ・ 体表面温度計を正面出入口に設置
- ・ 出入口にアルコール噴霧スタンドを設置
- ・ 1階出入口、1階北側出入口のドアを午前・午後2回換気開放
- ・ ロビーに設置している長椅子等に隣接をさけるよう表示

(2) 安全安心の確保

災害時等に備えた「危機対応マニュアル」を改訂整備し、緊急時に迅速な対応が取れるよう体制づくりを図った。

また、不測の事態に備え事務所職員等を対象に普通救命救急講習を受講し、AEDを使用した心肺蘇生法などについて学んだ。

(3) 適切な維持管理及び利用者への満足感の提供

利用者から要望があったトイレの洋式化や、授乳室の設置など利便性の向上に努めた。また、施設や設備等に不具合が生じた場合は適切な補修を行い、利用者へ支障がないよう配慮すると共に、施設内照明を段階的にLED化するなど、節電や省エネにも努めた。

① 改修計画の更新

平成30年度に実施した建物老朽化診断調査結果を基に、大規模な改修等については、山形市へ提案するなど情報を共有した。

② 利用者情報交換会の開催

利便性の向上並びにプラザの利用促進を目的として、主催者から利用時における要望や意見等を伺い改善できるものについては速やかに対応しているが、今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため主催者を集める形態ではなく事前に意見・要望等を伺い書面で回答した。

③ モニタリングの実施

施設を利用された主催者及び来場者を対象にアンケート調査を実施した。

それらにより得た要望などについては、できるものから対応し、リピーターの確保に努めた。

〈主催者対象〉 調査期間 令和2年10月1日～31日
配布枚数 110枚（回収率：63.6%）

④ 全国展示場連絡協議会等への参加

例年、全国55施設で構成されている全国展示場連絡協議会の会議に出席し、他施設との情報交換を行い連携の強化を図っているが、新型コロナウイルスの影響により開催中止となった。

（４）自主事業の実施

① 山形ビッグウイングフェスティバルの開催

この催事は、平成26年に山形ビッグウイング開設20周年を記念して行ってきたもので、7回目の開催となった。「食」をテーマとした村山広域圏（7市7町）うまいものフェアを開催し、共催事業として、山形市伝統的工芸品まつりを開催した。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、飲食及び試食の禁止、定期的な換気、会場内の通路及び整列時の通路幅の確保等を行い、来場者には、検温の実施、マスクの着用、手指の消毒、名簿の提出等をお願いした。

期 日 令和2年11月28日（土）・29日（日）

場 所 山形国際交流プラザ 展示場1234

来場者数 3,400人

② 山形国際交流プラザ館長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催

国際交流広場の利用拡大及び市民の健康増進を図ることを目的に、山形市グラウンド・ゴルフ協会の協力を得て行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

③ 地場産業紹介コーナーの設置

地元産業の振興を図ることを目的として、プラザ1Fエレベーター前の展示コーナーに「山形市美と技の伝統工芸」と題し、山形鋳物等の製品を展示した。

④ 子どもの映画教室の開催

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーの利用促進並びにPRを目的とし認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭の協力を得て実施した。小学生を対象に手書きのフィルムで映像を作成し、出来上がった作品の試写等を行った。

期 日 令和3年3月13日（土）

場 所 山形国際交流プラザ 試写室他

参加者数 6人

(5) 利用促進に向けたセールス活動等の実施

プラザの利用拡大を目的に、主に県外利用者や過去の利用者、類似施設を使用している主催者等を例年訪問しているが、新型コロナウイルスの影響により活動を自粛した。県内外の企業等にダイレクトメールを発送しプラザのPRに努めた。

4 総務

(1) 理事会・評議員会等

① 監事監査

開催日	令和2年5月11日(月)
開催場所	山形国際交流プラザ
監査内容	令和元年度事業報告等、令和元年度計算書類等、令和元年度公益目的支出計画実施報告

② 5月みなし決議(通常理事会)

決議及び報告があったとみなされた日	令和2年5月28日(木)
決議事項	令和元年度事業報告及び同附属明細書の件、令和元年度計算書類及び同附属明細書の件、令和元年度公益目的支出計画実施報告の件、評議員会の決議の省略の件、評議員会の目的事項の件
報告事項	令和2年度業務執行状況の件

③ 6月みなし決議(定時評議員会)

決議及び報告があったとみなされた日	令和2年6月16日(火)
決議事項	評議員の選任の件、副理事長の役員報酬の支給の件、令和元年度計算書類の件
報告事項	令和元年度事業報告の件、令和元年度公益目的支出計画実施報告の件

④ 第2回通常理事会

開催日	令和3年3月25日(木)
開催場所	ホテルメトロポリタン山形
報告事項	令和2年度第1回理事会以降の事業執行状況の件、給与規程一部改正の件
決議事項	令和3年度事業計画の件、令和3年度収支予算の件、情報セキュリティ管理規程の制定の件

(2) 人材育成

組織形成や専門的な知識を深めることを目的とし、オンラインセミナー等に参加し職員の能力開発を図った。

① 公益法人・一般法人会計セミナー

期 日 令和2年7月14日(火)・15日(水)

場 所 仙台市 ハーネル仙台

② 観光庁主催セミナー「With/Postコロナ時代のMICEを考える」(オンライン)

期 日 令和2年11月30日(月)

③ 2020年度下期JCCB人材育成研修会(オンライン)

期 日 令和3年2月8日(月)

(3) 自衛消防総合訓練の実施(年2回)

消防法で定められた自衛消防総合訓練を、財団職員と常駐委託業者が一体となって実施した。

期 日 1回目 令和2年6月18日(木)

2回目 令和2年12月9日(水)

(4) 一般社団法人山形市観光協会との組織統合に向けた準備

組織統合に向け準備を進めてきたが、統合後の事業として検討していた村山広域圏7市7町の広域観光について、新たに作られる「7市7町DMO」との役割分担を明確にする必要があることから、再度、組織統合の時期や方向性などを含め、関係機関と調整を図ることとなった。

(5) 賛助会員加入促進事業

賛助会員の入会を勧めるために、山形ビッグウイングエレベーター内やロビーにチラシによる告知をするとともに、山形ビッグウイングフェスティバルの会期中に賛助会員コーナーを設けPRをした。

また、山形市商工会議所の機関紙「商工月報」に会員募集の広告掲載を行った。